
平成24年度
五所川原市民討議会 報告書



平成24年度 五所川原市民討議会実行委員会

目次

● 市民討議会の概要 1
・事業概要	
・タイムスケジュール	
・話し合いのルール	
● 市民討議会の目的・手法 4
・市民討議会の目的	
・市民討議会の手法	
● 検討の進め方と論点（ねらい） 7
・全体テーマ	
・テーマ1～テーマ3	
● 討議シート 10
・テーマ1～テーマ3（提言）	
・投票結果	
● 検証 29
・テーマの選定	
・開催日	
・開催場所	
・討議時間と情報提供時間	
・討議しやすい環境づくり	
・謝礼	
・参加者の反応	
・今後の市民討議会への提案	
・提言書の取り扱い	
● 市民討議会 資料編 31
・実行委員会規則	
・案内チラシ、参加者案内通知	
・参加者アンケート結果	
・コーディネータープロフィール	
・新聞記事	

市民討議会の概要

■ 事業概要 ■

- 事業名 平成24年度 五所川原市民討議会
- 運営形態 五所川原市 ・ 公益社団法人 五所川原青年会議所 共催
- 開催期日 平成24年7月16日（月・祝日）
13時30分～17時
- 開催場所 五所川原市民学習情報センター
- 参加者 28人（18歳以上の一般市民）
- 参加者選出 住民基本台帳から18歳以上の男女1,500名を無作為抽出し、参加依頼を送付。61人から応募がありました。厳正なる抽選の結果33名を参加者と決定し、参加依頼を送付しました。（なお、個人情報保護のため、抽出は五所川原市、発送・集計作業は2012年度市民討議会実行委員会事務局が担当した。）
- 討議テーマ 「あなたが五所川原を変える！！」
- 小テーマ
 - 【テーマ1】：「五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところ」
 - 【テーマ2】：「市民ができる五所川原の魅力アップ大作戦」
 - 【テーマ3】：「その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？」
- 情報提供 【テーマ2】において、五所川原市役所財政部企画課職員による「五所川原市市民提案型事業」と題した情報提供を受けた。
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ① 参加者を、討議グループ（1グループ約6人、計5グループ）に分けた。進行は実行委員のファシリテーターが務めた。
 - ② 討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約した。
 - ③ グループで集約した意見を発表したのち、賛同できる意見に対して投票を実施した。
- 実施報告 討議結果は、報告書にまとめ提言として市長に提出します。

■平成24年度五所川原市民討議会プログラム■

平成24年7月16日（月・祝）

五所川原市民学習情報センター

TIME	内容
13:00～	受付開始
13:30～	開会・市長挨拶
13:40～	進行についての説明
13:45～	市民討議 テーマ1 『五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところ』
14:20～	市民討議 テーマ2 『市民ができる五所川原の魅力アップ大作戦』
15:00～	休憩
15:10～	市民討議 テーマ3 『その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？』
15:45～	グループ発表
16:10～	グループへの投票
16:20～	まとめ
16:40～	閉会
16:45～	参加者アンケート 随時解散

■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合ファシリテーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、テーブルアシスタントの実行委員が、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

話し合いのルール

- ①自分だけ話さない
- ②頭から否定しない。
質問として聞く。
- ③人の意見を最後まで聞く。
- ④楽しい雰囲気大切に。

市民討議会の目的・手法

■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよい暮らしのために何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要性を認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

■ 市民討議会の手法 ■

～ブラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「ブラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は、次のとおりです。

1. 運営組織＝実行委員会形式

初めての開催となる今回は、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計 11 人で構成され、4月 11 日の初会合から7月16日の開催日まで、延べ 5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を越えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日初参加の市民を想定して、市職員の方にも参加していただき、実際にワークショップを行いました。

2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出を行い、1,500人に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締切日までに送られてきた参加承諾書は、61人でした。なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は実行委員会で担当しました。

3. 話し合いの方法

話し合いは、プラーヌクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で、全部で5グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内全ての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見るために、参加者が投票を行うことで、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授平井太郎様にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プラーヌクスツェレとは・・・

プラーヌクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・C・ディネール（ドイツ・ヴパタル大学名誉教授）により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の一つとしてプラーヌクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プラーヌクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む

市民グループである』～「プラーヌクスツェレ（ディーネル教授 著）」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

討議の進め方と論点（ねらい）

□討議テーマ ◆全体テーマ 「あなたが五所川原を変える！！」

◇ねらい：討議テーマは、今回の市民討議会の最終的な成果目標である「五所川原をもっと元気にする」ことから設定しました。また、小テーマも意見が出しやすいことを最優先にしながらも、「自分（市民）に何ができるのか」を自問し、行動（まちづくりへの参加）に結びつくように設定しました。

□討議1 ◆小テーマ 「五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところ」

◆論点 ・五所川原市の公共的地域課題の確認と共有（その理由）を図る。

◇ねらい：五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところを改めて討議することで、五所川原市の長所・短所を明らかにし、五所川原市の魅力（特徴）と課題を共有することをねらいとする。「好き・嫌い」という個々の判断に働く要素として、この地に住む価値をどこに見出して生活しているのか（「潜在的価値」）や、市民（参加者）が共通して解決したいと考える課題（「公共的課題」）が隠されており、それを参加者自身が確認するための作業といえる。なお、討議1では自由な発想を促すために、情報提供を行いません。また、自己紹介と絡め行います。

□情報提供

◆内容 「五所川原市企画課職員による市民参加に関する情報提供」

（討議2に先駆け約15分間説明。パワーポイントスライド）

◆論点 ・五所川原市における市民参加（協働）の実情を共有し、参加者が市民参加を主体的に捉える。

◇ねらい：市民提案型事業の内容等を説明・紹介することで、参加者がまちづくりの主体としての市民の役割を確認し、次の討議へと結ぶことをねらいとする。

＝討議の論点＝

市民参加を「行政が市民の声を吸い上げる」ための手段とせず、「市民が地域の公共的課題の解決に向け、行政や社会に対して影響を与える」ための手段であること（【主体の転換】）を意識付けする説明となるよう調整を図る。

□討議2 ◆小テーマ「市民ができる 五所川原の魅力アップ大作戦」

◆論点 ・まちづくりの企画者として、「五所川原の魅力アップ＝目標とする姿」に導くための取り組み内容と推進方法（担い手）を考察する中で、市民の立ち位置を確認する。

◇ねらい：討議1から導き出した「五所川原の価値の拡大」、「公共的課題の克服」に対して、どういう状態にしたいのかという最終目標を意識しながら対応する事業・取り組みをできるだけ多く抽出する。また、情報提供を参考に、事業の取り組み主体を「行政」「市民」「協働」の3区分に分類し、抽出した事業・取り組みがどの区分に位置づけられるのかを考える中で、市民と行政の関わり方をイメージし、市民の主体性の発揮の必要性を共有することをねらいとする。

□討議3 ◆小テーマ「その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？」

◆論点 ・討議2で得た「市民のまちづくりへの関わり方（立ち位置）」をシミュレーション（成果目標を達成するために協働して行う最も有効な取り組みの確認・提案）することで、協働に対する理解の促進と参加者のまちづくりへの主体的参加意識の向上につなげる。

◇ねらい：【協働に対する理解の促進】

討議2で得た主体別の具体的取り組み（事業）の展開の中から、「協働」が必要とした取り組みのうち、最終的な成果目標を達成するために考えられる最も有効な「協働施策・事業」を1つ抽出し、考えられるアイデアや具体的行動をすべて書き出す（派生図の作成）。その後、最終的に成果目標を達成させるための事業展開として「最も有効かつ自ら実践可能な行動」を「市民」と「行政」別に抽出し、発表（提言）を行う。

【提案例：「〇〇〇のために、市民は△△△を提案します。それにより□□が××になっていきます。」】

一連の作業を進める中で、最終目的と事業展開の関係が明らかになり、さらに「市民」と「行政」の役割分担（行動）の具体例から、「協働とは双方に役割が発生すること」を認識し、実践への意欲の醸成が図られることをねらいとする。

討議シート

チーム名 やってまれ

ファシリテーター

花田憲一郎

討議1 『五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところ』
 すき ピンク きらい ブルー

討議2 『市民ができる 五所川原の魅力アップ大作戦』 グリーン

好きなところ 1

観光

立佞武多などの夏祭りが活気がある

立佞武多を復活させた根性

立佞武多

立佞武多

立佞武多

全国の人が参加できる

立佞武多が素晴らしい

立佞武多の踊りを小中学生にやらせてほ

立佞武多服装規制過多にならないように

立佞武多服装についての説明を看板立てたりテレビCMで流したり宣伝する。

立佞武多トイレの設置

観光客屋から集める

宿泊施設が少ない

公共駐車場が少ない

入手しやすい観光マップ

五所川原通年観光PR隊！！を結成

まるっと五所川原体験ツアー

グリーンツーリズムと立佞武多パンフレット

一般の方が参加しやすい環境を作る

肌出しすぎは見苦しいです

子連れで見物しやすい環境整備 トイレ

一般観光客が参加できるような窓口をつくる

交通

通学、買い物など移動しやすい(距離)

住みやすい

どこに行くのも便利

歩いて買い物ができるように店などがあればいい。

青森市と弘前市のベッドタウン

津鉄とJRがつながると観光も車のない人は便利になる

好きなところ 2

特にない

ひと

人と人の話し
合いがよい

なまりが素敵

親しみやすい
(誰にでも話し
かけてくれる)

田舎らしさが
残っているところ

名物おばちゃん (PR)

ボランティアや
交流できる企画をたくさん
増やして人と
人との交流を

自然

自然がきれい

自然豊かなところ

四季がはっきりしていて特に岩木川の土手からながめる岩木山は大好きです。

自然がたくさんある。

田舎らしさが
残っているところ

岩木山の風景
がよい 除雪
体制がよい

ちよっときれいなところ 1

雇用

若い人が働く場所が増えればいい

エルムしかない

遊ぶ場所が少ない

商店街すぐ閉まる

働く場所が少ない

働く場所が少ない

地域の特色を生かした事業

パンフレットなどで遊ぶ場所などを提供する

仕事がない

お店や建物を増やすことによって仕事は少しでも多くなる

雇用についての事業化

冬に町中クロスカントリー

環境

夏が過ぎると(夏以外は)さみしい

雪が多い

ゴミがいっぱい

雪が多い

岩木川をきれいにしてほしい

夏祭りには観光客が多いが通年の集客イベントが少ない

雪まつり

不動公園の整備

雪まつり

ゴミ拾いのボランティアをする

雪の有効利用

南国から(国内・国外問わず)観光客を

持続した公共公園等の整備

ちよつときらいなところ 2

環境

飛び地

合併したけど
交流が少ない

閉鎖的

不良がいっぱ
い

チャリを盗む
人が多い

ホームステイ
先に助成金

植林などの事
業に補助金な
ど

生垣に助成す
る制度

五所川原に
ディズニーラン
ドを誘致

西北病院が混
雑

三味線など
のタイアップを
回り冬にイベ
ントを実施す
る

診察番号お知
らせシステム

毎月イベント
があればいい

公共

子どもたちの
遊び場が少な
い

市民がくつろ
げる公園が少
なくまたあつ
ても管理が十
分でないと思
っています

公園のトイレ
の掃除をしよ
う

公園の整備
雇用対策

討議3 『その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？』

だれが 私たち五所川原市民は

なにを PR隊をつのって

おいしいものを探し美しい景色を探して歩き

どうする 観光コース作成 パンフレットとして活用
ポスター、看板、テレビ、CMでPR

また、一緒に立佞武多の紙貼り体験
(ハネトの服を着たら半額 交通費値引き)

けっか 街が観光客で活性化する

中山山脈テレビ塔に展望台
陸奥湾展望

十二本ヤスの木

しじみ貝とり体験

不動公園アスレチック
などの

チーム名 ジャングルジム ファシリテーター 榎崎誉人

討議1 『五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところ』
すき ピンク きれい ブルー

討議2 『市民ができる 五所川原の魅力アップ大作戦』 グリーン

好きなところ

自然

小さい子供から大人まで利用・散策しやすいところ

のどかで住みやすい

四季をかんじられる。祭りがあること。

住みやすい

近場に四季おりおり散策するところあり

立佞武多がすき。

まつり

ねふたを教える教室があればよい はね方、正装、衣装購入先などのレクチャー

たくさんの祭りがあるので(梅祭、桜祭、花菖蒲、立佞武多)つながりをもたせた仕組み例えばスタンプラリーとか

高校生の参加がパワーになってとても良いです。

情報発信のしかた、どこでこうゆうものやっている(例えば市役所、商工会議所)。

祭りの形式が変わる節目の年だが、一般参加される方々の受皿と情報の発信の工夫が必要かと思う。

災害が少ない

地域住民の情報共有生成

災害による被害が少ない

災害もなく住みよい 好きな街です

地元住民だけ知っているだけではだめなので(知らないひともいますよ)

ちよっときらいなところ

パチンコ

パチンコ店が多すぎる。

パチンコ好きが多い。

仕事

仕事が少ない

五所川原から発信する仕事場を中央資本はいらぬ

駅前が...

駅前が閑散

駅前に仕事を

駅前を繁華街

公園

遊具の整備されてない公園が目立つ

公園が少ない

子どもが遊ぶ所の設備があまり良くない

住みよいところなので別に嫌いなところ

雪

快適な冬国の生活ができない。

除雪の開始時間が早すぎてこまる(午前1:30位から)

雪対策はそれぞれ頑張らなければだめだと思ひます。

討議3 『その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？』

外で遊べるところが少ないので子供に外で遊べる環境が欲しい
 公園に雪が捨てられていて春遅くまで雪残っていました。
 交流の場としての役割を機能できる公園の整備をお願いしたい
 今まで使われていた水と緑の小公園を整備してください
 新興住宅周りの公園措置

だれが 市民が

なにを (地域住民に対しモニタリングなど) 調査をし、
 どうする また整備点検を行う。(後に信用度アップ)

具体的には きれいな公園を保つ為にごみの扱いを考える
 (ごみ箱の設置をどのようにしたらいいかetc.)
 遊具も必要だが走り回れるようなスペースがあるといいのでは
 ゴミの持ち帰りが一番です。ちょっとした看板でお知らせを
 地域住民を巻き込む

公園の状態を把握 設置割合

公園を状況調査

出来ること出来ないことの線引き
 決まった時専門の人の知恵を仰ぐ

けっか コミュニティーの場 昔のような近所との付き合いでつながりができる

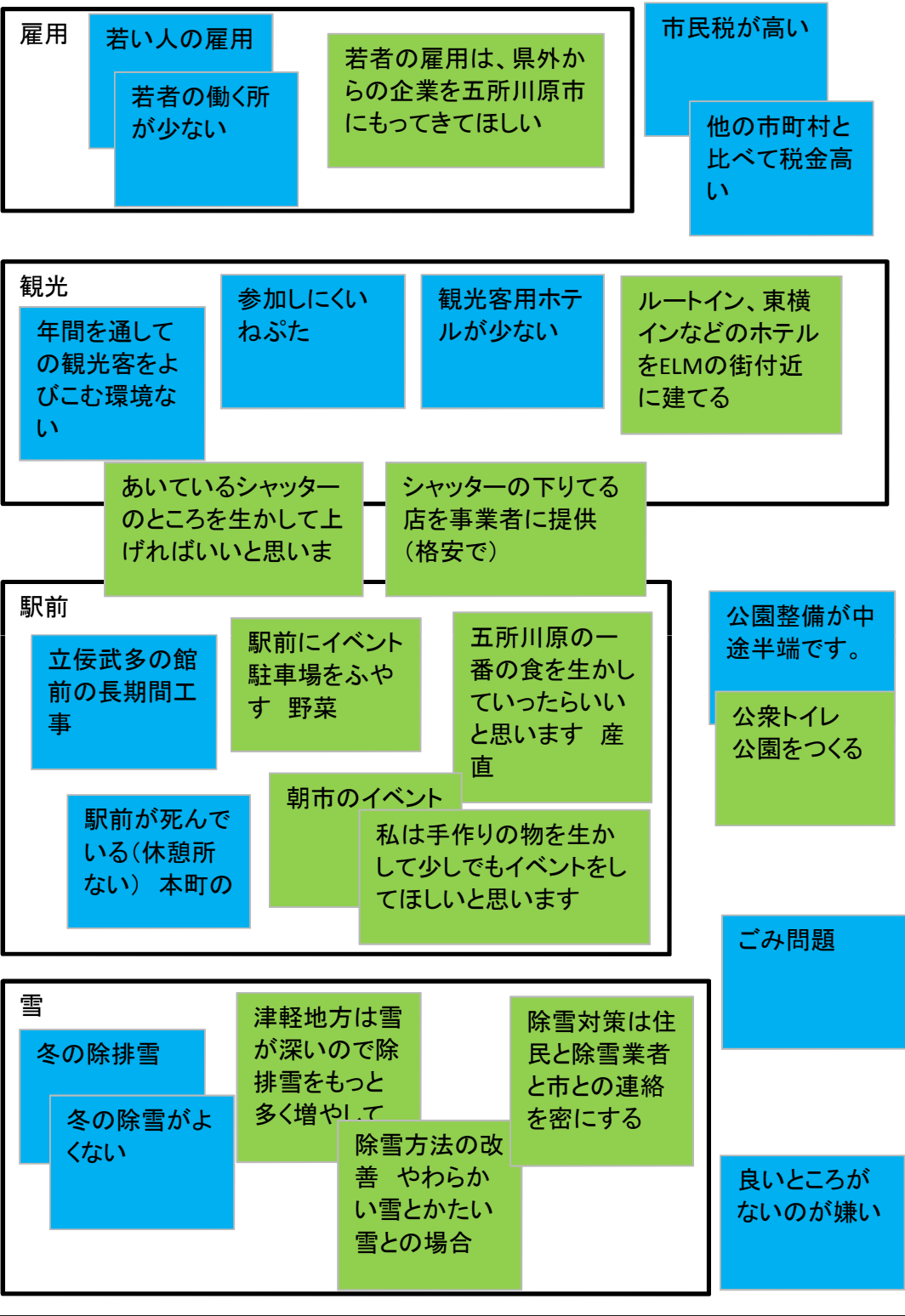
住民のふれあいの場 ふれあいの場所になります

子育て支援 引きこもり予防
 子どもと親の距離がより近くなる 体力増進

みんなが立ち寄る いこいの場になる 小イベントもできる

住民が維持する公園

ちょっときれいなところ



討議3 『その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？』

まちの活性化 五所川原観光マップ

だれが 市民が

なにを
どうする

お客さんによろこばれる手造りの物
食べ物・レジャー・観光用 つくる
ニーズに対応したサービス提供
商品の鮮度 値段のよいものを出す
安くて買いやすいもの リサイクルにもなる

観光客の
ニーズを探る 顧客

シャッター店・空き店舗を
市内の子ども大人たちに描かせて印刷する
最初はすべて埋める（シャッター店を残さない）
事業希望者に格安で提供する（誰でもOK状態）

インターネットで配信して
より多く呼び寄せる（宣伝、コマーシャル）

売上アップした店には何らかの報酬を
あまりにも売上のとれないところは撤退（次の事業者と交代）

立佞武多
花火大会

商品の小型化
ねぶたグッズの販売
立佞武多に参加する人を増やす
祭りのライブ映像を
ねぶたと市場の連係 宅配みやげ用
祭りをにぎやかにする

けっか

集客力UP
お客様が集まる
空き店舗もうまる
経済効果が出る
各店舗が一生懸命売ろうとする→活性化へ
各店舗が接客 店の見た目をよくしようとする→素敵な街へ
街に人があつまるようになり活性化！
五所川原名物のお土産売れる
興味を持ってもらい 観光客の増加
地域経済の活性化
県外からのお客様を集める
来客数の増加

ちよっときれいなところ

虫送り

虫送りで花火がなくなって盛り上がり上がらない

虫送りの時期が寒い

花火で観光客を増やせば盛り上がると思う。

祭りの意味を明確にする。

もう少しあたたかい時期にする

道路が狭い所は消防ポンプ車は入れない

駅前が寂しいと思う

パチンコ店が多い

環境

立佞武多の後のごみ

わらやき公害

悪臭の出る堰の場所の確認(中心街)側溝

側溝が下水の臭がする

わらの無料提供を дайダイ的にする。

高校に環境科を作る(県に対する)

ごみ焼却のエネルギーを電力に活用

空き地に雑草、悪臭

市は自然エネルギーに力を入れる

大企業にたよらず地元で電力工業を立ち上げる

施設

公共施設がばらばら

スポーツ施設環境が悪い

公共事業の計画等不明

学校、市役所、病院に太陽光パネルを設置

運動公園を作ってほしい

元の農協の建物利用(弥生町)

けがのないようなスポーツ環境を作ってほしい

市内の有料施設は市民であれば割引してほしい

市、中心部に図書館をもってくる。空施設を改善して

毎週日曜日市内駐車場を無料化する

討議3 『その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？』

だれが 市民が

なにを 市内各店おみやげ試食セットの製作、宣伝、販売

どうする 各菓子店より1~2点これというものを送っていただく
各店に製作を依頼する
トラック市 立佞武多の館 販売場所を確保する
立佞武多の館のことをチラシや広報で宣伝する（おみやげのこと）
立佞武多の館にほとんどの特産物がそろっているなのでその館にいき
やすくする。駐車場の無料とやかたを地元にも知らせる

イベントなどあるときは駐車場を無料とする
日曜日市内駐車場無料にする
駐車場を増やす。場所を考えて増やす
駐車場の補助金を確保する
駐車場に依頼する
駐車場の場所をわかりやすくした看板が
あれば探さなくてもわかる
市内駐車場の案内図を作る
駐車用地の提供 依頼をする

けっか あなたは知人のお土産になやんでおりませんか
市内の美味しいお菓子一袋にあつめました。
これで今度のお土産はきまり！！ 人が移動しやすくなる

チーム名 市活性化チーム ファシリテーター 松野 健

討議1 『五所川原の好きなところ・ちょっと嫌いなところ』

すき ピンク きれい ブルー

討議2 『市民ができる 五所川原の魅力アップ大作戦』 グリーン

好きなおとこ

観光

立佞武多がある

立佞武多で一緒に盛り上がるおとこ。

駐車場の無料化

観光客も参加できるようなエリアを ねぶた期間中だけでも設置してみる

軽トラ市等新しい所に挑戦している。

津軽鉄道があるおとこ

ゆるキャラを作る。

道の駅等を作って、地域の物を販売する。(五農で作られたもの 赤～いりんごを使用した商品をつくるetc.)

自然

岩木山と地吹雪

自然の美

海・山の幸が豊富

観光向けにするのなら少し料金を下げる

海の幸と山の幸

四季がはっきりしている

郷土料理

青森、弘前に近い

市役所の使命感

ちよっときれいなところ

活性化

大町 暗いイメージ

市内・駅前に活気ない

若い人が住んでみようと言うメリット

案内標識不足

街中にもっと活気がほしい。(今は活気がない)

駐車場の無料化

通年で楽しめる場所を作る。

子供の医療費や保育料の無料化

観光客も参加できるようなエリアを ねぶた期間中だけでも設置してみる

雇用

若い人の働く場所が少ない

大手会社の進出

給料が安い

企業誘致の戦略

仕事場をもっと増やしてほしい

雪

除雪が不十分

除雪の在り方

除排雪が大変

冬期間の車の運転が大変

除排雪に関する懇談会を！

融雪剤をたくさんまいてほ

観光

立佞武多以外はないのか！

立佞武多はバカのひとつ覚え的

無料駐車場多く

観光の産業化(宿泊所)

税金の使い方

無駄な建設が多い

必要な工事がされてない。(他 学校、通学路)

図書館、プールを良くしてほしい

危険マップを設置しているところを中心に工事を進める。

「ごしょがわら教育市」の条例化

教育にもっと関心と投資(大事に)

学校、商業施設に道路工事が必要か聞いてみる。

医療

子ども高齢者 居場所

高度医療機関の不足

路上駐車

討議3 『その魅力アップ大作戦の具体的な方法は？』

だれが 道の駅

なにを 市の施設を利用
五所川原市の有名・珍スポットを
市内在住の農家の野菜・果物を
五所川原農林高校の生徒が作った商品

どうする 十三湖の大和しじみも販売

五所川原独特のソフトクリームやもちを作って売る

販売する
紹介する

けっか 市のコマーシャル
生徒たちに「売れた」という実感が生まれる
新しい雇用が確保される
雇用の拡大
タクシーに乗る割合が増える（かも）
ツアーを組むことで可能になる

なにを ゆるキャラ

五所川原
金木 3体を作る
市浦

どうする 五所川原産の食品・物品にキャラを添付する
いろいろなイベントに出場する
観光地で五所川原をアピール

けっか 全国的なコマーシャルになる
目をひかれる→買うかもしれない

投票結果

1位 グループD もつけ 11票

試食品・駐車場

2位 グループE 市活性化 8票

道の駅・ゆるキャラ

3位 グループA やってまれ 7票

立佞武多PR

4位 グループB チームジャングルジム 6票

公園

5位 グループC まちの活性化 4票

空き店舗・まつりの活性化

検証

1. 開催日

今回の市民討議会は、1 日間とし、開催時間は午後 1 時 30 分～午後 5 時（約 4 時間）とし、できるだけ大勢の方が参加できるように祭日の開催としました。今後は、多くの方が参加いただけるよう週末開催を基本に、テーマや目的によって、土日の 2 日間の開催や日曜日のための 2 週間（2 日間）で開催するなど検討する必要があると感じました。

2. 開催場所

今回は、五所川原市民学習情報センターを会場としました。駐車場の問題やキャパシティを考慮し決定しました。しかし一方で、照明設備が水銀灯であり、スライドの上映時見えづらいこと、また、よりシンボリックな場所などのほうが参加意欲につながることを考えられるため、来年度以降は改善の必要があります。

3. 討議時間と情報提供時間

まず、グループワークは、1 回を 30 分程度とし、長くなり過ぎないようにしました。参加者アンケートによると、討議時間が適切であったとの回答が多くありました。討議環境の工夫や時間配分の改善を通じて、参加者がより討議に集中できる環境を提供することが課題です。

4. 討議しやすい環境づくり

討議を円滑に進めるために、各グループに実行委員会のメンバーを「ファシリテーター」として配置しました。討議に参加するにあたり、議論を誘導しないように注意を払いながら、参加者が発言しやすい雰囲気づくりを心掛けました。その他にも、討議シートの会場内での掲示、話し合いのルール掲示、さらに会場の雰囲気を和らげる茶菓子・茶サービスなどを行いました。以上のように、討議しやすい環境を整備し、よりよい成果を挙げられるように努めた結果、

より深い議論が得られたものと考えていますが、次年度以降の課題として、BGMの有無やお菓子などの必要性について検証する必要があります。

5. 謝礼

参加者への謝礼は、現金としました。金額については、3,000 円でした。今後の課題としては、市民討議会の参加者への謝礼の必要性について検討する必要があります。

6. 参加者の反応

当日の参加者には、熱心に討議を行っていただき、活発な議論が交わされました。討議会終了後のアンケートでは、「五所川原が良くなっていくきっかけになって欲しい。」や「改めて市民としての「意識」を感じた」などの意見をいただきました。その一方で、「もっとテーマを具体的にすれば良い意見を準備参加できるのではないのでしょうか?」、「討議テーブルが近すぎて声が聞こえにくい。」という意見もあり、市民討議会の運営に更なる改善が必要です。

7. 今後の市民討議会への提案

今回初の試みとなった市民討議会は、すべてが手探りという状態からのスタートでした。全体のスケジュールやテーマ選定などすべてにおいて市及びコーディネーターの先生と何度も協議してはきたものの、今後は全体スケジュールをしっかりと立て、役割分担を早期に明確化するなどし、誰が実行委員になっても、スムーズに討議会の企画運営ができるよう、市民討議会としての基本スタイルの確立・マニュアル化が必要であり、改善していかなければならない課題と考えます。いずれにしても市民討議会を開催することが目的となってしまうよう、今後、目的をはっきりさせる必要があります。

8. 提言書の取り扱い

今回いただいた提言は、報告書として取りまとめ市長に手渡すとともに市民の皆さんからの貴重なご意見として、大切に取扱いさせていただきます。

市民討議会 資料編

平成24年度 五所川原市民討議会実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、平成24年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、平成24年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 市民討議会の実施に関すること。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関すること。

(組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成25年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

(3) 書記・会計 若干名

(4) 監事 2名

2 役員は委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(経費)

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

(会計年度等)

第11条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(解散)

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成24年4月23日から施行する。

(会計年度の特例)

2 実行委員会設立時の会計年度は、第11条の規定にかかわらず、平成24年4月23日から始まるものとする。

■参加者案内通知■

平成24年 6月

市民の皆様へ、

五所川原市長 平 山 誠 敬、

公益社団法人 五所川原青年会議所、
理事長 今 直樹、

～活力ある・明るく住みよい豊かなまち～、
「五所川原市民討議会」への参加のお願い、

初夏の候、ますますご清栄のことと存じます。

この度、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所は、平成24年度の新たな取組として、「五所川原市民討議会」を協働で開催することとなりました。（広報ごしょがわら（5月15日号）に内容が掲載されています。）

市民討議会では、さまざまな市民の皆様から、幅広い意見を出し合ってください、市民参加のきっかけづくりと、市政への市民参画と協働を推進していくものです。

この市民討議会への「参加のお願い」は、18歳以上のすべての市民の中から1,500名を無作為抽出し、送付させていただいています。

つきましては、貴方様が無作為抽出により選出されましたので、趣旨をご理解のうえ、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

記、

- | | |
|-----------|----------------------------------------------------------|
| 1 日 時 | 平成24年7月16日（月・祝日）13時30分～17時00分、 |
| 2 場 所 | 五所川原市民学習情報センター、 |
| 3 討議会のテーマ | 「あなたが五所川原を変える！！」、 |
| 4 謝 礼 | 3,000円、
（詳細は決定通知時お知らせいたします。） |
| 5 参加定員 | 30名程度、 |
| 6 進め方 | 参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿った意見を出し合ってください、グループごとにまとめていただきます。 |

- 7 回答方法
- (1) ご参加いただける場合、
 お手数ですが、別紙の承諾書に必要事項をご記入のうえ、
 返信用封筒により、平成24年 6月 22日までにご返送
 ください。
- (2) 不参加の場合、
 お手数ですが、別紙アンケート用紙にご記入いただき、同
 封の返信用封筒により、平成24年 6月 22日までにご
 返送ください。
- 8 参加者の決定 **参加の申込みが多数となった場合は、申し訳ありませんが、抽選
 とさせていただきます。**
- 9 その他
- 託児サービスなど
 参加を承諾される方で、託児を希望する場合は、事前にご連絡
 ください。(対象1歳から未就学児まで)
 - その他、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問
 い合わせください。

【問い合わせ先】

五所川原市民協議会実行委員会事務局

(公益社団法人 五所川原青年会議所内)

〒037-0052 五所川原市字東町 17-5 商工会館 1F

TEL 0173-35-4049

(10:00~17:00、土日祝を除く)

FAX 0173-35-4044

五所川原市財政部企画課

〒037-8686 五所川原市字岩木町 12

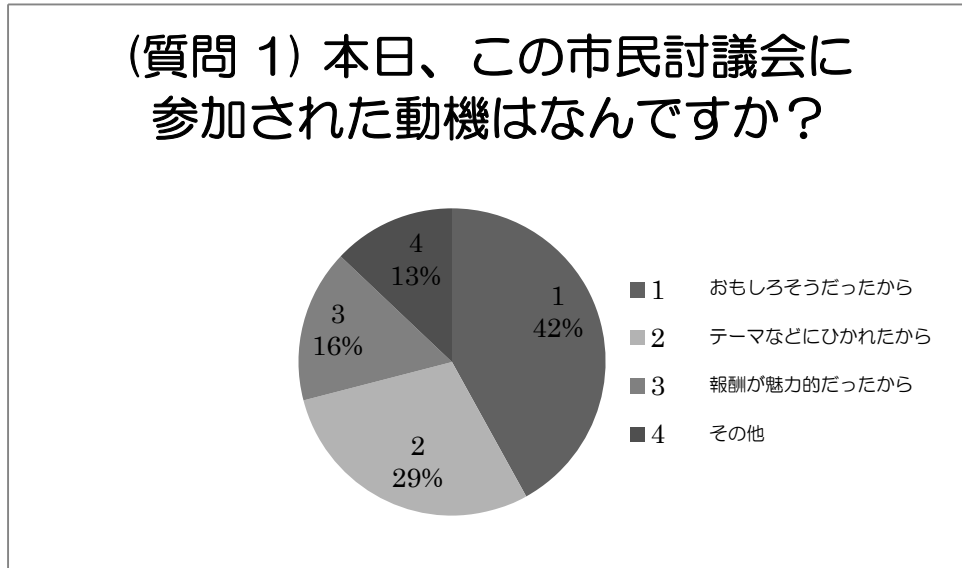
TEL 0173-35-2111 内線 2152~2154

FAX 0173-35-3617

■各種アンケート■

参加者アンケート結果

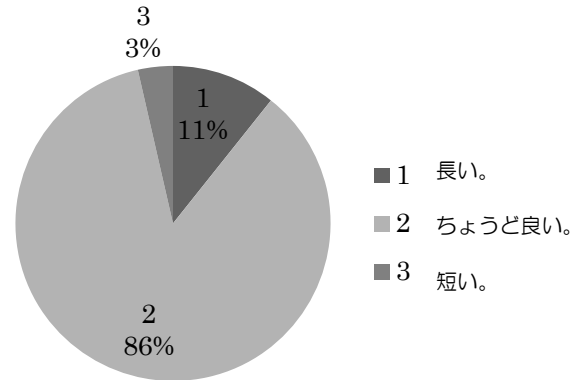
参加者 28 人に対して



その他の具体的な内容

- ・ 討議会に参加したかった
- ・ 五所川原の好きな所を探す事
- ・ 興味があった。
- ・ 自分たちの住む所を自分たちの手で よくしたいと思ったから。

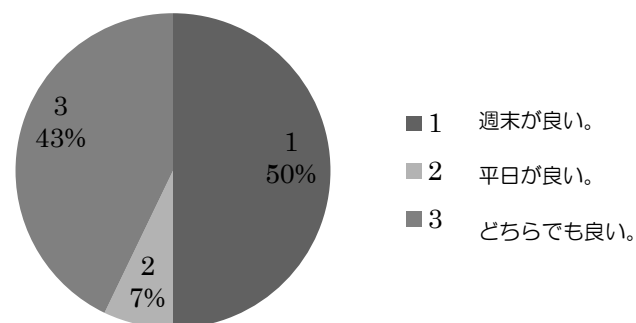
(質問 2-1) 市民討議会の時間的な長さはいかがでしたか。



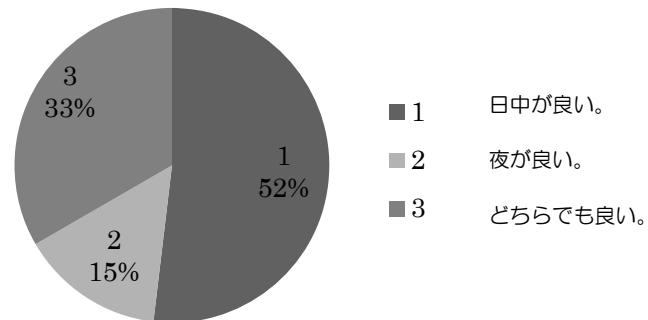
(質問 2-2) 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。ちょうど良い時間はどのくらいでしょうか。

- ・ 2～3 時間 1 名
- ・ 3 時間 3 名
- ・ 4 時間 1 名
- ・ 6 時間 1 名

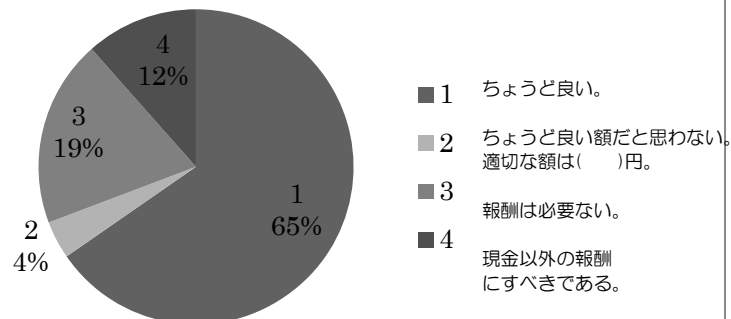
(質問 2-3) 市民討議会を開催する曜日ついてはいかがでしたか。



(質問 2-4) 市民討議会を開催する
時間帯についてはいかがでしたか。



(質問 3) 市民討議会の報酬の額
についてはいかがでしたか。



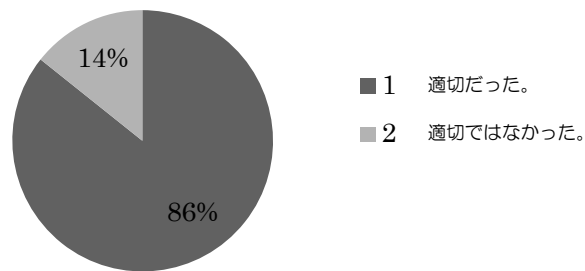
現金以外の報酬 にすべきである。具体的には？

現金はよくない、お菓子とか。
わからない。

ちょうど良い額だと思わない。 適切な額は()円。 について

6,000 円

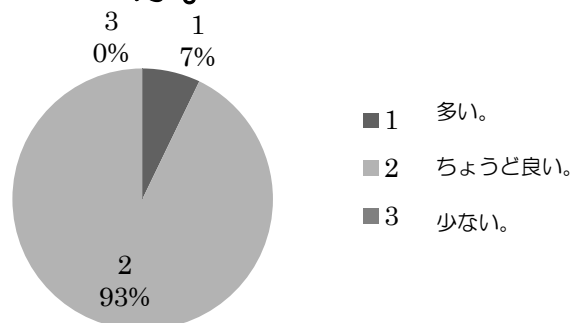
(質問 4-1) 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか。



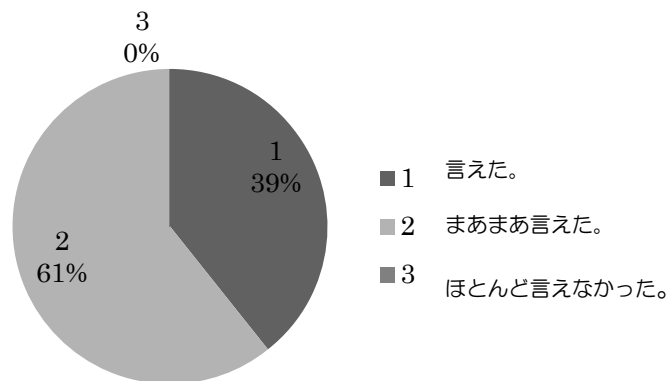
(質問 4-2) 「適切ではなかった」とお答えになった方は理由をお書きください。

- ・テーマに核がないよう?
- ・フワフワしすぎ
- ・市の活性発展について
もっとつっこんで討論したい。
- ・30万100万の予算内で自分達のできることは少ない

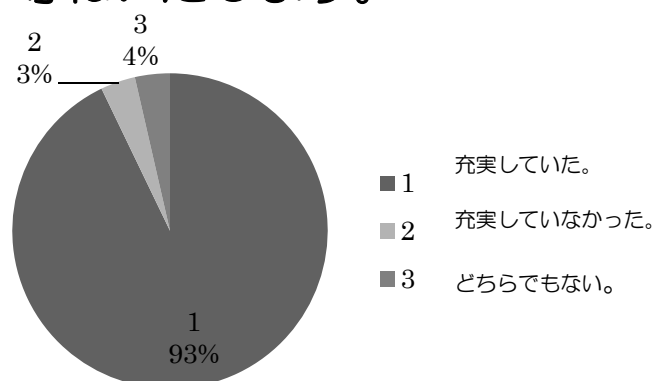
(質問 5) 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか。



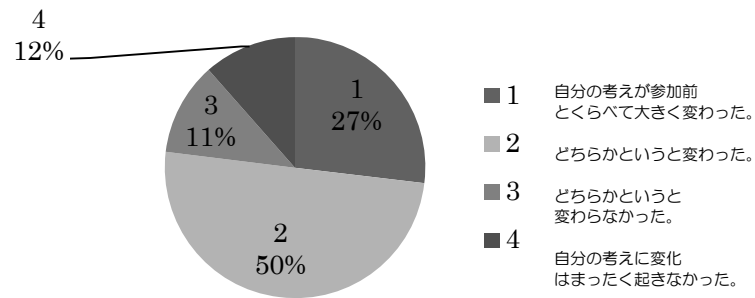
(質問6) 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか。



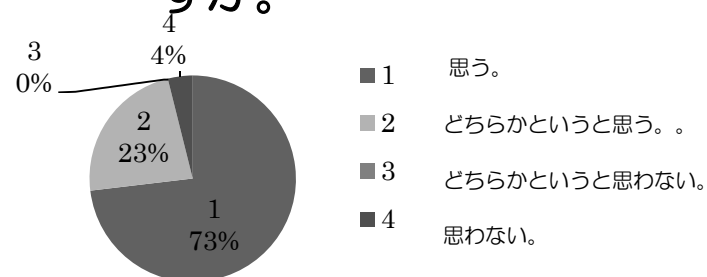
(質問7) 参加されての充実感をお尋ねいたします。



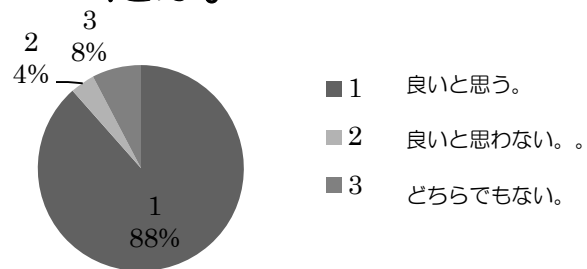
(質問 8) 討議していく中で、「五所川原市」に関する考えに変化はありましたか。



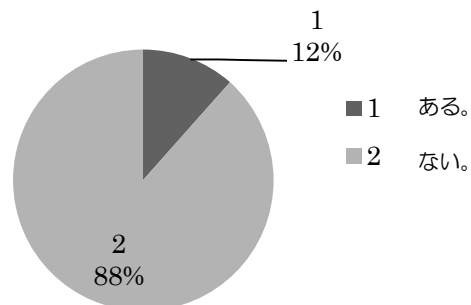
(質問 9) 討議を通して、五所川原市の問題点や今後につながるアイデアが明らかになったと思われませんか。



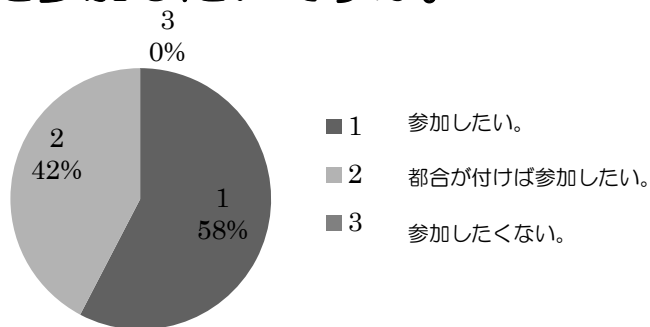
(質問 10) 今回、参加者を無作為(ランダム)で選びました。この選び方についてどのように思われましたか。



(質問 11-1) これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか。



(質問 11-2) 市民討議会にかぎらず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか。



(質問 12) 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？なんでも結構ですので感想をお書きください。

自分が年寄であるため、今まで経験済みでしたので思想とか理想はできませんと思います。
どうせ何も変わらないと諦めて居りましたが、そうではなく、小さな一人の意見でも機会があったら言うべきと思いました。
もっとテーマを具体的にすれば良い意見を準備して参加できるのではないのでしょうか？討議会の進行方法に関する事前の説明があれば初めての参加者にもわかりやすいと思います。
討議テーブルが近すぎて声が聞こえにくい（後ろの席をなくして、もっと広く場所をとろう）せっかくコーディネーターが話をしているのに聞かず話をしている人がいて失礼だと思った。話し合いは、各年代別でもそれぞれの年代の意見がまとまって、年代に必要なことがわかると思う。
いろんな年代がたくさんでいろんな意見が聞けて面白かった。実行すれば五所川原市がよくなりそう。
知らない市民と交流できてよい機会でした
大変勉強になりました。
五所川原が良くなっていくきっかけになって欲しい。
楽しかった。しっかりした住民がいることを実感
時間進行が適切で、それなりに結論もでて、達成感があった。
楽しかった。
みなさんが五所川原を思う気持ちが伝わった。

改めて市民としての「意識」を感じた
様々な意見が聞けて良かったと思う。
自分の考えを言えたのでよかった。楽しかった。
自分の思ったことが発言できてよかったと思います。
今回は初めてでも自分の思っている事、本当に良かったです。
市長さんに声がしっかり届けば良いなあ
今後もこういった取り組みを行うべきだ。
市民それぞれの考えが聞けて良かったです。
各5グループの内容はそれぞれ意義のある事と思います。
少数意見の中に良い考えも多々あったのでどの意見も尊重してほしい。
思っていたよりたくさん意見が言えたので楽しくできました。時間が短く感じました。
色々なもてなしが良かった。（お菓子ジュース）
短い時間でも多様なアイデアが出され、ビックリしました。いろいろ五所川原の為にみんな考えてくれて良かったです。

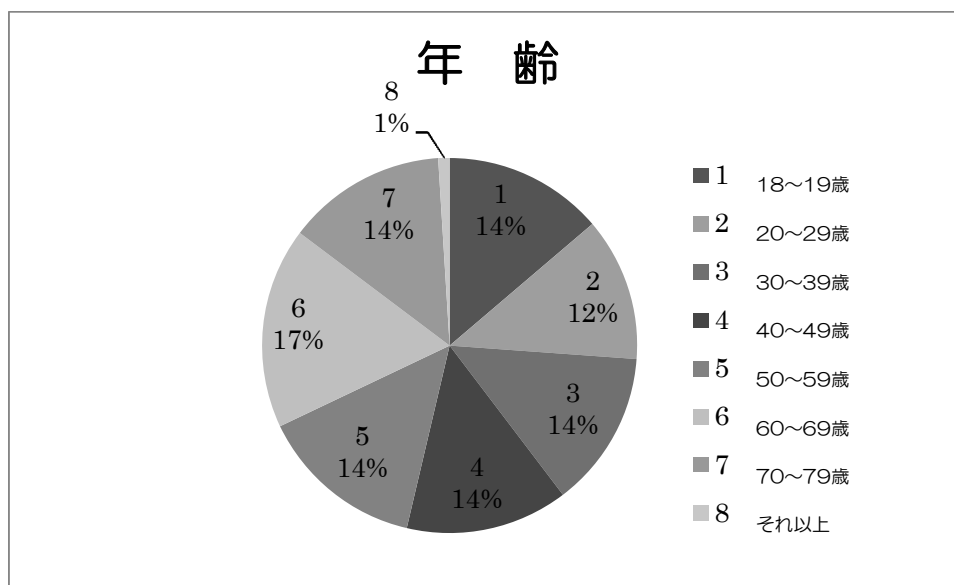
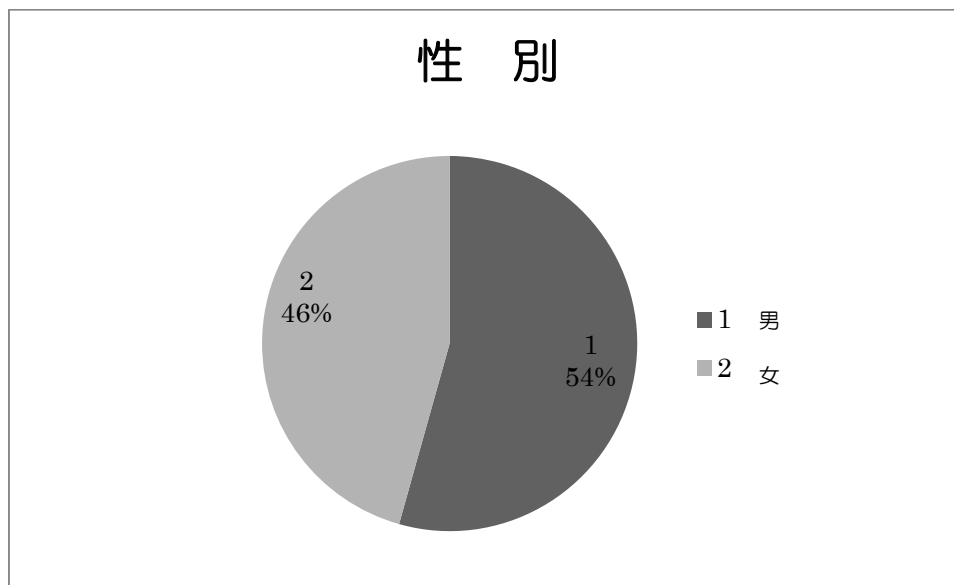
その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

初めてのこのような場に出させていただきましたので十分な心構えもなく申し訳なく思いますが、テーマを絞ったやり方も考えくださいませ。
途中の提案事業の説明は必要か？事業者ではないし、事前アンケートで好きか嫌いかだけしか聞いていないのに、長々と話されても・・・と思った。事業提案は、団体などを呼んで説明するほうがもっと効率が良いと思う。今回は、思ったよりも充実した話し合いになったと思う（J-デザイナーを使ったのはよいと思う）今後も続けていくとより良いと思います。
こういうのをまたやってほしい
市民討議会の方からも意見を出してください。
試作品のお菓子の試食などしてみたい。
雇用、工業に関することについて、自然エネルギーについて
定期的にやってほしい。
町の活性化に・・・
まだ途中だったので、また第1、第2と集まって会議をしてほしいです。またぜひ参加したいです。

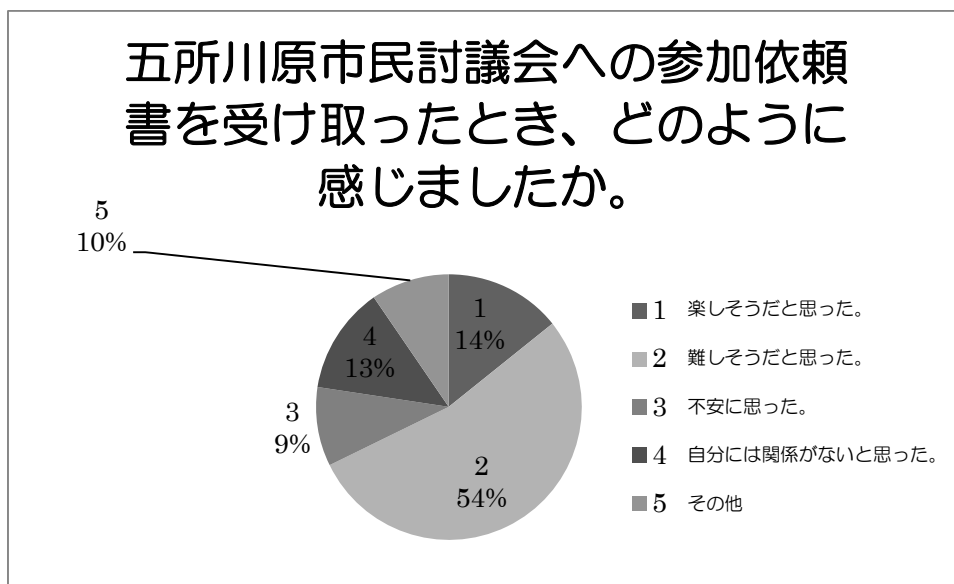
ご参加いただけない方に対するアンケート結果

484 人回答/1,500 人発送に対して

1 あなた自身について



2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか。



その他の意見

有難いが出れないのが残念

都合が悪い

色々な人の話をきくいい企画だと思う

若者に意見してほしい

具体的なテーマがよい

意見をだしても変わらないと思う

全ての年代市民にとって住み心地の良い街づくりを希望するものである

主旨が具体的でないこと

良いこと

よくわからない

面倒

良いことと思う

県外在住

若者に

びっくり

ピンとこなかった

必要と思った

病気

いいこと

大学生

よい

興味深い

高齢の為

無理と思った

感情がない

いいこと

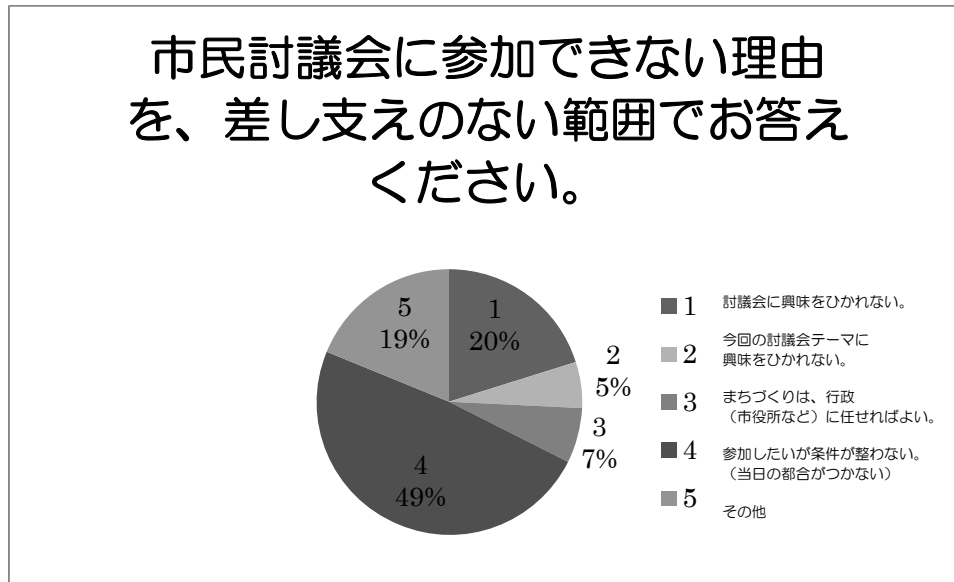
びっくりした

いいこと

たった数時間で話し合いができるか？

3 市民討議会に参加できない理由を、差し支えのない範囲でお答えください。

(複数回答可)



その他の意見

仕事や育児の都合

学生で仙台

今の所良い発想が浮かばない

私用の為

学生（県外在住）

仕事

身体的理由

テーマがわからないため

参加したいのと、不安な気持ち

子供を見てくれる人がいない

よくわからない

若い人の意見の方がいい

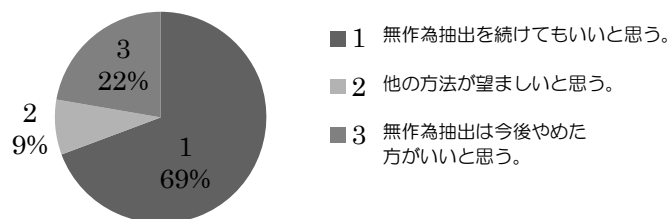
発言できないため

自分にはまだ早い。
場所がわからない
意見を言っても実現しない
テーマが不明
討議会ではなく、アンケートの具体化
公務員なので他の人の意見を
話すのが苦手
発言能力なし
苦手
何を求めているか見えない
若い人
意見しても意味がない
受験
病気治療
行政は市民の意見を聞いていない
考えが出ない
県外
意見できない
引越してまだ五所川原がわからない
真意がつかめない
難聴
不在
出稼ぎ
体調不良
思考力不足
子供がいる為
不安
子供がいるため

大学
治療
病気
仕事
県外
難聴
歩行不能
他県
アイデアがない
体調
歩行困難
テーマがはっきりしない

- 4 今回、無作為抽出にて参加者を選定しましたが、このような方法についてご意見をお聞かせください。

今回、無作為抽出にて参加者を選定しましたが、このような方法についてご意見をお聞かせください。



その他の意見

募集

30人に対し1500人は多くないか

自分には難しい

性別・年代別・職業別集めて、幅広く各層の方のほうが、対策がねられるのでは・・・

広報等で募ってみては？

参加者募集

広報などで募集

無作為と希望者の組み合わせ

応募方法

町内会の代表とか

専門的知識のある人

電話できいたら？紙の無駄

地域別に各年代まんべんなく

無作為+希望者

希望者

専門家を呼んでもいいと思う

テーマを決めその希望者

希望者

分野別の抽出専門性を高めるため

1500名はおおすぎ？

本人の状況を把握すべき

町内会などの代表

募集

知識のある人

希望する人

参加者

きちんと意見を述べられる人

希望者

年齢の考慮が必要

意見がある人

若者の老人は別に（話が合わない）

5 今後、このように市民の意見を聞き話す場が設けられた場合に、どのようなテーマ設定が望ましい（希望）ですか。具体的テーマがある場合は、記載してください。

今後の五所川原市活性化について

具体的なテーマは答えにくいけど、テーマはあったほうがいい

今回のテーマで十分

災害後の一時避難候補地としての役割

駅前通りの活性化、無理かな？

住みよい五所川原にするために

市議のあり方、または地域に於ける就職職場の拡大

若者が活躍できる場が欲しい

商店街の衰退

若者世代の仕事、子育て環境の改善

子育て、農業、観光（祭）

別紙手紙

若者が魅力を感じるためには

現在抱えている市の問題点への意見会

不景気を乗り越える

継続してください。

市の活性化

市の交通機関は利用しやすいか？

市の活性化

税金を正しく使う

高齢者もいきいき暮らせるまちづくり

公務員の自覚の無さ

税金

活性化

ICT を活用した地域課題の克服

税金

もっと祭りを盛り上げるには？

老人が暮らしやすい町づくり（車運転不可の人）

市民がわくわくする街

冬の除雪のあり方。（通学路・歩道の確保）

子育てしやすい街にするには？

活力ある明るく住みやすい街

市に不満がある人

観光客が増え活気ある五所川原

市の活性化、環境美化

市の活性化、老人問題

奥津軽の玄関口として五所川原の位置付け

きれいな街づくり

どうすれば五所川原（市浦・金木含む）がよくなるか

魅力ある街 五所川原

商店の活気を望む

市に人が集まる工夫

若者の雇用の場

きれいで安全なまちづくり

教育、若い世代の働く場

今、五所川原に必要なもの

楽しく過ごそう

住み良い街造り

具体的なテーマ

市民の健康・子供の非行問題・市の産業

・雪・食と五所川原・歌と五所川原

生活保護

市営住宅について

税の使い道

文化・芸術

税金について

まちづくり＝市民一人ひとりが金銭的・心理的に豊かに

市の問題点を考える

地元ががんばれる五所川原

市民のあり方と行政

開いている店舗を活用して、老人をそとに出してほしい
税金について
このまちをもっと好きな町に
市議のあり方、議員定数 20
ご飯が食べれる仕事が必要
地域の産業を考える
地元就職の場
確実にできる地域のことで未来の街並みをつないで、新五所川原マスタープラン設計
を考える
ねぶたは必要か

6 自由意見（ご意見等があれば記入してください）

討議会は大変良いと思いますが、反映していただけるかが考えさせられます。
市民討議会に興味のある人の為に、目安箱を用意して、意見を取り入れたらいいと思う。
市の今後の発展に期待する。
常に考えている事、プラネリムがあればいいと思う。市浦遠いもんな。
子供から大人まで夢と希望が持てる市政を望みます。
職場が少なく友達がたくさん上京していきました。もっと盛り上がればいいのに。
病院の待ち時間が長い。税金が高い。最低限の必要以外に使わない。心の広い人材を選ぶ
参加者の意見進行具合を見てテーマを決めたら？
日程を増し、日にちを変えて 30 名で 3 回とかにして多くの人の意見を聞くとよい
テーマが良すぎる。本当に変わるの？個々の意見の前に政治をしっかりと。
本人は知的障害の為答えられない。
無作為抽選だと受けた人も動揺するし、送料などかかるので（税金）町内会長とかに依頼すべき。
個々の意見などどうにもならない。
どのようにやるか、詳細をもう少し知りたい。ネットで検索しましたが、あまり載ってない。市の HP でも紹介してほしい。
各家庭にアンケート用紙で意見を聞く
平日もあってもいいのでは
テーマ漠然としていて自分がどういう発言できるかわからない

具体的なテーマがないと若い人は知識が少ないため行きづらい。
30人に対して、1500人は多い
若い人に頼みたい
若い人中心に進めた方がよい
「豊かな町」として、具体的に詳しくやってみてはどうか？たとえば、「今、市で何が足りないのか」とか、面と向かって話せなくても、マーケットならば意見もかけるはず
人が集まる五所川原
討議会に参加するのではなくこのようにマーケットをこたえる方法が参加しやすいと思います。
市民の意見をまとめることは難しいことですが、討議会という場を設ける事は大賛成 税金を使って一部の人に利益があるのはおかしい（大町開発等）
討議会を継続していかないと、意味がない。若い人をどんどん出して！
現代社会におけるもろもろの問題も含め住みやすい街
行政は市民の意見を聞くんですか？
良いことだと思うが、ある程度知識ないと難しい
堰を改善してほしい。
埼玉から来たが、町が死んでるようです。「やかた」の周辺もまとまってない。
「奥津軽の玄関口は五所川原」これは数10年前JCが打ち出した言葉
金木公園をきれいにしてほしい
1世帯に2名は必要ない
活力ある明るく住みよい豊かな町を
今の五所川原はJ-スタジアム。何の魅力もない街のような気がします。
あまりにも抽象的、行政に反映される方法をしめすべき。
病院建設の場所：ねぶた・花火大会の時の急患の対応
テーマが曖昧なので、もう少し具体的なテーマにすべき
おもに老人のスーパー的な日替わり品もあるような楽しい買い物ができる店が大町あたり にあったらいい。
やかた中心に商店街等の街づくり（今は活気がない・・・）
市の将来を展望したとき、若者の就職先確保対策が最も重要
市議会を活気づかせなくて、五所川原の現状が変わるとは思えない
何のテーマで話し合い、どのように活用されていくかあまり見えない。もっと具体的に 今後やめたほうがいい
自治体の活動は派手にやりすぎず、基本的な生活に沿う状態にとどめる
本人が参加出来ないとき、家族が代わりに参加できるようにしてほしい。

五所川原を変えるテーマですが、変わるのでしょうか？だんだん活気がなくなってい くみたい
市職員パート扱いでみなさん仕事を増やしてほしい
若い人に仕事を。そうすると自殺者もなくなると思う（天下りをなくして）
市のHPを見やすく、有効的に（意見を書き込む掲示板など）
企画はいいが、時間に左右されない、書面・メールでの意見も反映してほしい 封筒にバーコードで誰かわかるのでは？・雪問題・謝礼はいらぬ
保育料（収入が変わらないのに、前年の2倍）子ども手当が減額した分保育料に反映 を
大町について、建て替えしても集客はのぞめない、同じ税金なら違うことに使って工 夫してほしい
文化・芸術を活性化
国保に資産割があるのがわからない、求人を増やしてほしい。
各町内から意見を出せばよい
若者が仕事できる街
ねぶたの参加について
謝礼はいらぬと思う。
市政と住民の対話集会を毎年実施。JCと農業・地域、関係は深いのだが、今の世相 に共通点はない。
テーマが大きすぎ
地元にいたいのに職場が少ないので改善してほしい。
まつりの会の入会など一般市民にもわかるように
農業について
1500名から30名、参加できない人の為に討議会の具体的テーマをアンケートで回答 できるシステムにしてほしい
市は統一性がない。子供達、郡部は後回し、他の市町村を見習ってほしい。とくに つがる市等
大町について、常に工事しているが、具体的な姿はどのなの？
話を聞く課でも作ったらどうでしょう。変わらないといけぬのは市役所です。

五所川原の魅力アップ

市民のアイデア続々と

28人参加初の討議会

五所川原市の初めての市民討議会が16日、市民学習情報センターで開かれた。18歳から78歳の男女28人が「五所川原の魅力アップ」をテーマに話し合い、自分たちが住む地域のまっすぐについて考えた。

(加藤彩葉)



グループごとに「五所川原の魅力アップ」について話し合った参加者

市民参加のまちづくると五所川原青年会議所を連携するため、同市が4月にパートナーシップ協定を締結。市民討議会実行委員会を設立した。6月に18歳以上の市民1500人を無作為に抽出し、討議会の参加案内書を送付。希望者約60人を抽選し、参加者を決めた。

討議会では、弘前大学大学院の平井太郎准教授がコーディネーターを務めた。参加者は5グループに分かれ、①五所川原の好きなお店、②嫌いなところ、③市民ができる五所川原の魅力アップ大作戦④魅力アップの具体的な方法⑤について話し合った。

討議会の最後には、各グループが提案を発表。立花武多(たち

ねがた)をインターネッットでライブ中継する。土産品の試食

「セットを作る」、「シンヤッター街を手作り品の店で埋める」、「ボランティアらで公園を整備しコミュニティの場をつくる」などの意見が出た。

平井准教授は「今後、話し合いで出たアイデアを形にするために動いてほしい」と話した。



地元をどう活性化

五所川原で市民討議会

五所川原市民討議会(員長)は16日、五所川原市実行委員会(今一憲委)原市の市民学習情報セ

五所川原市の活性化について市民目線からの率直な意見を交わす参加者

ンターで五所川原市民討議会を初めて聞き、市民28人が同市の好きな点や地元活性化について意見を交わした。

市民自身が意見を出し合い、同市の将来について考えを同時に協働のまちづくりに至るきっかけをつくらうと、同市と五所川原青年会議所が主催する実行委員会が初開催。住民基本台帳から18歳以

上の市民1500人を無作為に抽出し、参加希望の返答があった61人の中から30人程度を

選出した。18〜78歳の28人が討議会に集まった。

初めに、平山誠敬市長が「それぞれの地域に合ったまちづくりのため、市民の意見を市政に反映させる第一歩として期待している」とあいさつした。


討議会ではコピーライターの平井太郎准教授の指示の下、5グループに分かれた参加者が「同市の好きなところ、嫌いなところ」の市民ができる同市の魅力アップ大作戦の具体的な方法の3つのテーマについて討議した。

- 「立佞武多や花火大会など祭りが好き」
- 「働く場が少ない」
- 「除排雪が不十分」
- 「地域の特産物を売る直売所などがあれば」
- 「積極的にイベントを行う」などの意見が出され、参加者が自分の意見を付箋に書いて大きな紙に貼り付け、意見の統一化を図った。

(山本恵子)

コーディネーター プロフィール

2012.5.1現在

氏名 (フリガナ)	平井 太郎 ヒライタロウ	
生年月日(年齢)	昭和 51年 5月14日 (35歳)	
勤務先	弘前大学大学院地域社会研究科	
専門など	社会学	
経歴・職歴	西暦	
		2000年 東京大学教養学部教養学科卒業 2008年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)取得 日本女子大学人間社会学部学術研究員 2012年 弘前大学大学院地域社会研究科 准教授(現職) 2003年 特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 副理事長(現職) 2010年 小田原市歴史まちづくり協議会 委員(現職) 2011年 小田原市地域経済振興戦略ビジョン、同文化振興ビジョン策定委員

平成24年度五所川原市民討議会実行委員名簿

平川 新介 今 一憲 榑崎 誉人 上見 一嘉
島村 豊次 花田 憲一郎 平山 敦士 須藤 大樹
坂本 曜治郎 白戸 裕丈 岩川 和雄

平成24年度五所川原市民討議会 報告書

編集 平成24年度五所川原市民討議会実行委員会